

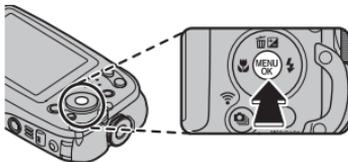
いろいろな撮影

シーンに適したモードで撮影する

撮影モードを切り換えることで、状況（シーン）に適した設定を行うことができます。

撮影モードを設定する

- 1** MENU/OK ボタンを押します。
撮影メニューが表示されます。



- 2** 撮影モードを選んで、▶ を押します。
撮影モードの選択画面が表示されます。



- 3** 撮影モードを選んで、MENU/OK ボタンを押します。
撮影モードが設定され、撮影メニューに戻ります。



- 4** DISP/BACK ボタンを押します。
撮影画面に戻ります。

撮影モード一覧

撮影モード	機能
 シーンびったりナビ	被写体にカメラを向けるだけで、カメラが自動で撮影シーンを認識し、最適な設定にします (図 28)。
 AUTO	カメラまかせの簡単操作できれいな写真を撮影できます。ほとんどの状況に適しています。
P プログラム	カメラがシャッタースピードと絞り値を自動的に設定します。
 アクションカメラ	アクションシーンを広角で撮影し、迫力ある映像を記録します。
 連写重ね撮り	暗いシーンや望遠撮影時の止まっている被写体の撮影に適しています (図 35)。
 HDR	露出が異なる複数の画像を撮影して合成し、輝度範囲の広いシーンでも白とびや黒つぶれの少ない画像に仕上げます (図 35)。
 高感度 2 枚撮り	フラッシュ非発光 / 発光で連続 2 枚撮影します。
 人物	人物の撮影に適しています。
 風景	昼間の風景撮影に適しています。
 アドバンストフィルター	さまざまなフィルター効果を加えた写真が撮影できます (図 36)。
 ぐるっとパノラマ 360	カメラを動かして撮影した複数の画像を自動で合成し、1 枚のパノラマ写真を作成します (図 37)。
 スポーツ	動いている被写体の撮影に適しています。
 夜景	夕景や夜景の撮影に適しています。
 夜景 (三脚)	スローシャッターでの夜景撮影に適しています。
 夕焼け	夕焼けを赤く鮮やかに撮影します。
 スノー	白く輝く雪景色での撮影に適しています。
 ビーチ	日差しの強い浜辺での撮影に適しています。
 水中	水中撮影を行うときに使います。
 水中マクロ	水中で、被写体に近づいて大きく撮影したいときに使います。

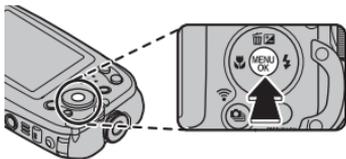
メニューを使いこなす

撮影の設定を変える — 撮影メニュー

撮影時に使う機能を設定できます。

撮影メニューの使い方

- 1** 撮影画面で MENU/OK ボタンを押します。
撮影メニューが表示されます。
- 2** 変更する項目を選び、設定を変更します。
- 3** MENU/OK ボタンを押します。
変更した内容に設定されます。
- 4** DISP/BACK ボタンを押します。
撮影画面に戻ります。



◆ メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。

撮影メニュー一覧

📷 撮影モード

(工場出荷時: **Auto**)

撮影目的や状況(シーン)に適した撮影モードを設定できます(📖32)。